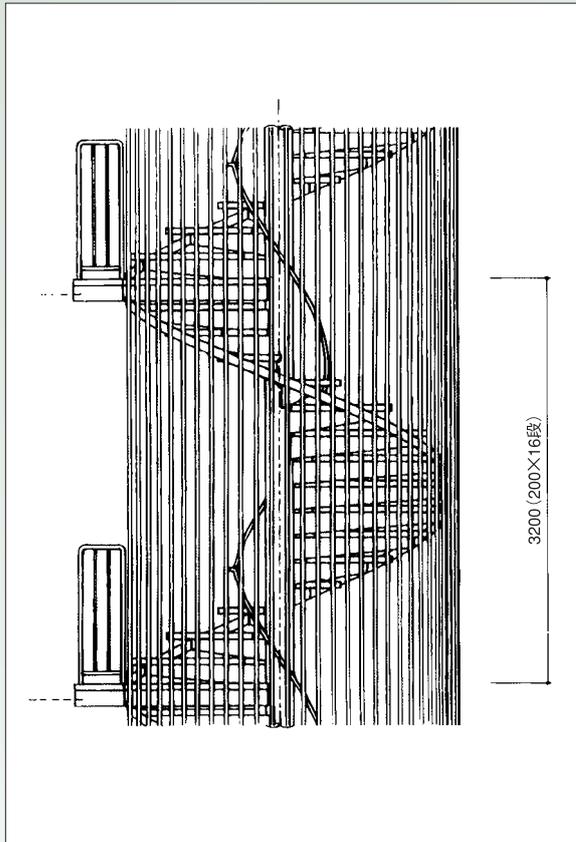
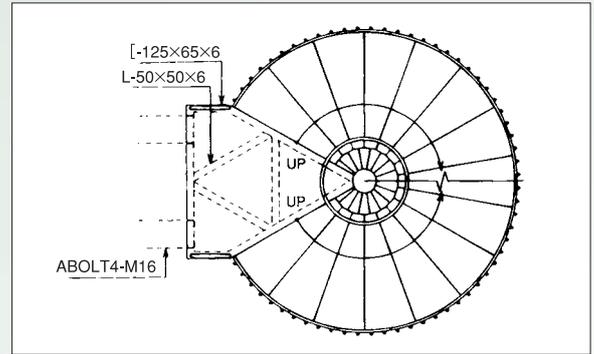


スカイフロウ 鉄骨らせん階段

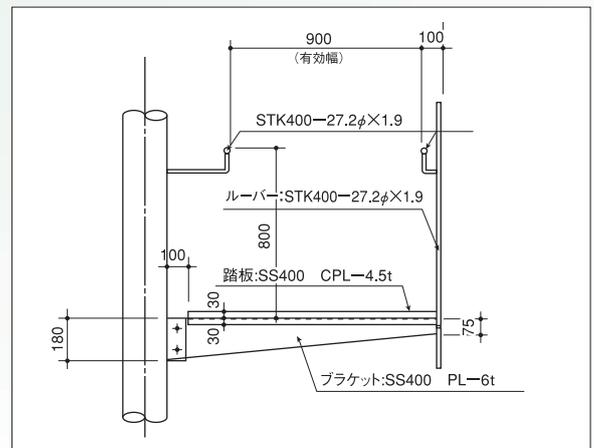




▲らせん階段立面図



▲らせん階段平面図



▲らせん階段断面詳細図



いざという時の備え、万全に。

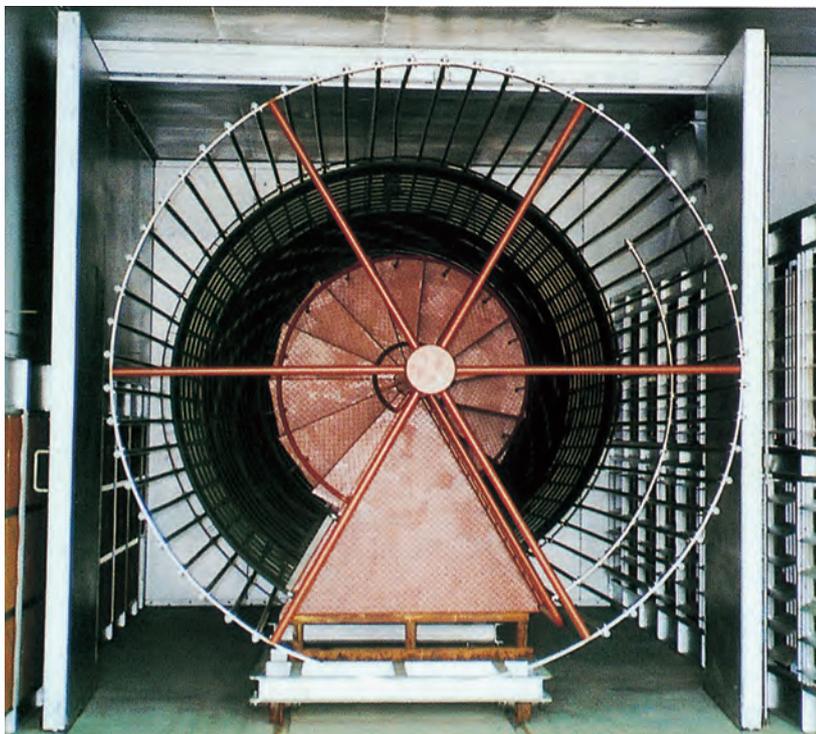
あらゆる建物の避難ニーズに対応した、美しく洗練されたデザイン。

他に類のない大型焼付け乾燥炉を完備し、各種樹脂の焼付け塗装が可能となりました。

らせん階段の特長として、設置にスペースをとりません。半永久的、結局は安く付きます。当社では、新製品の開発はもとより意匠設計部を設け設計図のお手伝いをさせていただける様対応しておりますので是非ご用命下さい。

大型焼付け炉を設備しております。

鉄骨らせん階段の組立品を一度に各種樹脂の焼付け塗装が出来ます。



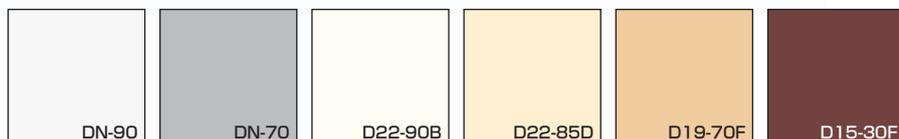
塗装の種類

- 粉体焼付け塗装
- アクリル樹脂焼付け塗装
- フッ素樹脂焼付け塗装
- ウレタン樹脂焼付け塗装
- その他樹脂焼付け塗装

◀ 焼付け塗装工場

焼付け炉の大きさ
W4m×L12m×H3.8m

弊社指定色



※印刷の都合上、実際の色とは多少異なります。

KG-AI型



モニュメント



パンチングメタル

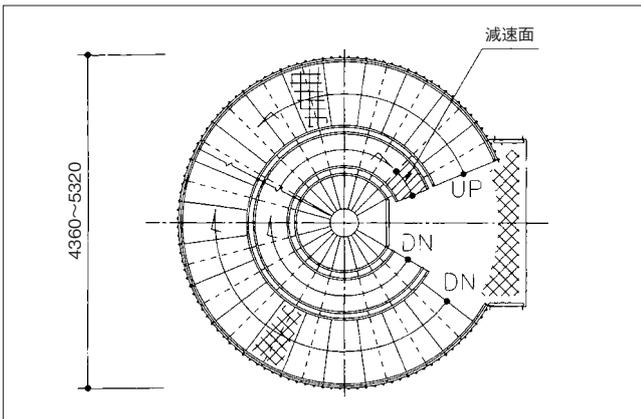


パンチングメタル

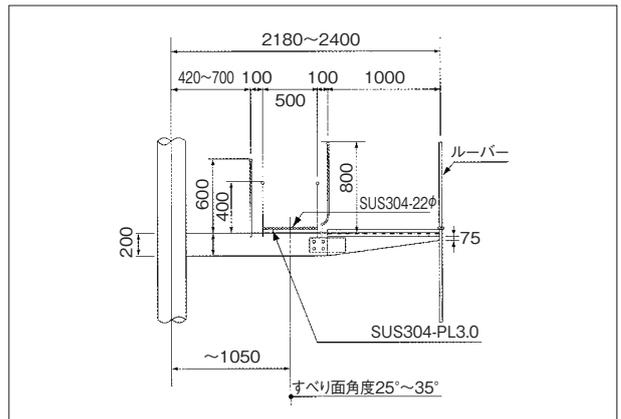
スカイフロウRS-型(らせん階段付避難用すべり台)



らせん階段付避難用すべり台
(財)日本消防設備安全センター型式認定品



▲RS-型 平面図



▲RS-型 標準断面図

近代建築の新分野を開拓する新素材

GRC (Glass Fiber Reinforced Cement)

GRCは、セメントモルタル中に耐アルカリ性ガラス繊維を補強材として混合した複合体の総称です。GRC二次製品の製造工法としてダイレクトスプレー法・スプレーサクシオン法プレミックス・抄造法に分けられます。これらの成形技術によりGRC二次製品の用途開発は近年著しいものがあり使用実績も30年を越え十分な耐久性も確立されております。

特長

A 組立の省力化・規格化

らせん階段は段板と踊り場板をササラ桁にボルトで締め付けることにより結合する組立式であり工場であらかじめ組立てられた階段を現場で順次積み重ねるだけで構造体に取り付けられます。

B 階高及び建物の用途別にも自由に適合

階高及び中間踊り場等建物の用途による踏み板の幅も自由に適合する柔軟な規格品です。

C 騒音と錆びの問題を解消

鋼板踏み板の弱点である歩行時の不快な金属音が解消されます。鉄部には溶融亜鉛メッキ処理を施し耐用年数をほぼ半永久的にしました。

D 軽量化の実現

高い曲げ強度をもつGRCの成形工法で踏み板の厚さは50mmまで薄くできるためPCコンクリートに比べて軽量となります。

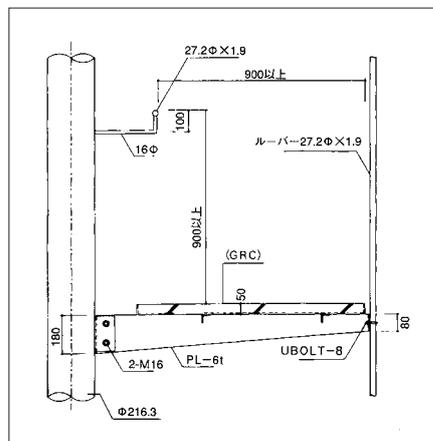
E 部品化による安定供給

規格化された部材の組立工法なので、量産と在庫を可能にし、短期間の施行にも安定供給できます。

F メンテナンスフリーで経済的

鉄部は溶融亜鉛メッキを施しており無塗装のままでも十分です。踏み板はパネル化した二次製品なので万一破損しても補修・取り替えができます。

KM-AI型 (GRC仕様)



▲らせん階段断面詳細図

GRCグラスファイバー混合

踊場・踏板用SUS304ステンレス鋼板 **ポルカプレート**

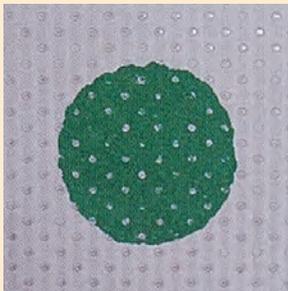
特 長

凸部が丸い形状なので、清掃性・水はけ性が良く、床がきれいにたもちます。

チェッカープレートは、ホウキで掃いた場合、チェッカー模様の裾の部分にゴミが残ってしまいます。

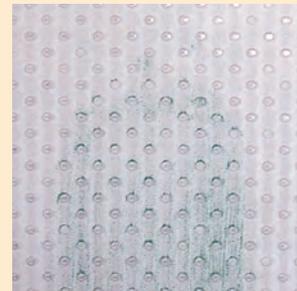
ポルカプレートは、凸部が丸い形状をしているため、ほとんどゴミが残りません。同様に水はけも良く、排水性・乾燥性に優れています。

ポルカプレート



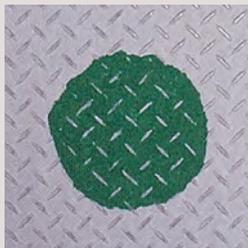
清掃前の状況

清掃方法
ホウキで2回、
同一方向に払う。



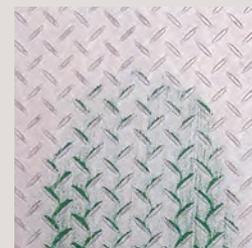
清掃後の状況

チェッカープレート



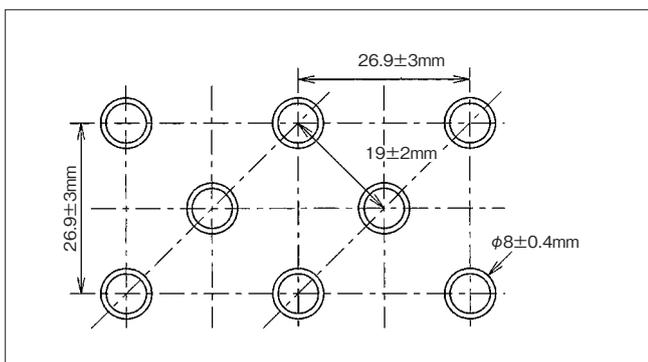
清掃前の状況

清掃方法
ホウキで2回、
同一方向に払う。

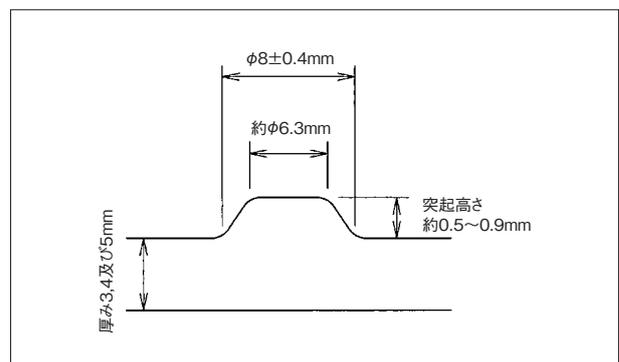


清掃後の状況

滑り止め効果の異方性が小さく、各種条件で安定した滑り止め効果を発揮します。



▲表面形状



▲表面形状

株式会社 豊国富士産業

<https://www.fujisangyou.co.jp/>

mail(代表):fujisangyou@fujisangyou.co.jp

mail(設計):skyflow@fujisangyou.co.jp

本 社 〒734-0013
広島市南区出島二丁目9-20
TEL (082) 251-9173 (代) FAX (082) 255-5757

東京営業所 〒104-0033
東京都中央区新川一丁目17-25KDX東茅場町三洋ビル8F
TEL (03) 4333-6201 (代) FAX (03) 4333-6202

名古屋営業所 〒451-0044
名古屋市西区菊井二丁目20-19
TEL (052) 583-0191 (代) FAX (052) 583-2833

大阪営業所 〒550-0014
大阪市西区北堀江一丁目8-12 丸五ビル3階
TEL (06) 6538-3452 (代) FAX (06) 6538-3453

福岡営業所 〒839-0808
福岡県久留米市東合川新町11-28
TEL (0942) 45-7322 (代) FAX (0942) 43-7601

仙台営業所 〒981-0914
仙台市青葉区堤通雨宮町3-35
TEL (022) 274-1234 (代)

代理店